

児童発達支援センターについて

事業所名：児童発達支援センター 板橋区立加賀福祉園児童ホーム

	対象	支援が必要な未就学児
児童発達支援事業について	在籍者数	30名（毎日グループ）
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎日グループ（平日10:10～14:10）（定員: 30名） ＊原則、単独通園 ＊各種行事 ＊通園バス有り</li><li>・めろんグループ（隔週水曜日 13:15～15:15）（定員20名） ＊主として保育園、幼稚園等を利用している4、5歳児 ＊親子での参加</li><li>・基本相談 ＊電話、面接、発達検査 ＊ぶどうグループ（毎週水曜日 10:15～11:30）（定員15名） ・・・主として在宅の2歳児前後の児童対象。親子での参加。</li></ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・より丁寧な支援を必要とする家庭の増加。</li><li>・家族同士の親睦や情報交換の機会の減少。</li><li>・子どもをとりまく環境の変化が、「支援が必要」とされる子どもの増加の背景にある可能性にも留意した上での支援のあり方。</li></ul>
保育所等訪問支援について		（事業としては行っていない、下記参照）
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・毎日、めろんの各グループ利用児の他、相談支援事業で関わっている児童の通園先保育園、幼稚園等を必要に応じて訪問し、当該児童への支援について意見交換等している。ちなみに今年度は1月現在で以下の通り。 ＊11人の児童対象で9園訪問。来園も2回あり、内ひとつは支援学校。 ＊交流保育として5園訪問。5人の児童対象で計15回 ＊ぶどうグループで1園 ＊相談支援で放デイ5箇所、支援級2箇所</li></ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別の事例に基づく保育園、幼稚園とのつながりだけではなく、全ての子ども、という視点で共に考えていく環境。</li></ul>
障害児相談支援事業について	在籍者数	130名前後（継続的に計画書を作成している件数）
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・福祉サービス（主に児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、移動支援、居宅介護、短期入所等）の利用に際しての、利用計画の作成、変更、モニタリング等。</li><li>・上記計画の作成等に伴う、訪問（家庭、事業所等）や面談。</li><li>・関係機関との会議等を通した連絡調整、情報共有。</li><li>・その他子育て全般等に関する日ごろからの一般的な相談（基本相談）。</li></ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・特に未就学児の利用では保護者の希望に添うことも多いが、その際、「適切な支援の量」をどう考えるか。</li><li>・幼稚園、保育園、学校など本人の主たる生活の場を制度上の要件としては含んでいない中での計画の意味合い。</li><li>・板橋区のように保健師の支援が充実している自治体における未就学児への計画相談の位置づけ（事業所の利用が決まってからの相談員の介入となる）。</li></ul>